



2025年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月10日

上場会社名 株式会社Fusic 上場取引所 東・福
 コード番号 5256 URL https://fusic.co.jp/
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）納富 貞嘉
 問合せ先責任者（役職名）執行役員経営企画本部長（氏名）小田 晃司（TEL）092（737）2616
 半期報告書提出予定日 2025年2月10日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年6月期第2四半期（中間期）の業績（2024年7月1日～2024年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	935	7.6	123	8.2	124	9.4	82	11.1
2024年6月期中間期	870	15.2	114	△0.8	114	1.9	74	△4.7

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期中間期	64.91	63.47
2024年6月期中間期	59.71	57.17

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期中間期	1,491	1,053	70.6
2024年6月期	1,437	967	67.2

（参考）自己資本 2025年6月期中間期 1,053百万円 2024年6月期 966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年6月期	—	0.00	—	—	—
2025年6月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,150	19.5	259	25.0	262	24.0	180	16.7	141.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期中間期	1,276,500株	2024年6月期	1,270,100株
② 期末自己株式数	2025年6月期中間期	24株	2024年6月期	24株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年6月期中間期	1,273,525株	2024年6月期中間期	1,246,464株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、決算補足説明資料をTDnetで本日開示するとともに、当社ホームページのIRページにも掲載しております。また、2025年2月17日に決算説明会を開催いたします。その説明内容（書き起こし）については、開催後速やかにTDnetで開示するとともに、当社ホームページのIRページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国の経済は、緩やかな回復基調を維持しているものの、外部環境の不確実性や国内の構造的な課題により、力強さに欠ける状況が続いております。雇用環境の改善が進む一方で、円安による輸入コストの上昇などの影響で消費者物価指数の高止まりが続いており、実質賃金の伸び悩みや消費者マインドの停滞が経済の本格的な回復を抑制しております。また、世界経済の動向や地政学リスクなどの外部要因も、日本経済の先行きに影響を与える重要な要素となっております。

国内のIT市場においては、企業の生産性向上や競争力強化を目的としたデジタルトランスフォーメーション(DX)の需要が引き続き堅調に推移しています。さらに、生成AI技術の実用化が加速していることから、それに伴うクラウドインテグレーション及びデータ活用関連サービスの需要も拡大しており、今後さらに拡大が期待されております。

パブリッククラウド市場においては、生成系AIの技術進歩に伴って、市場成長が加速しております。市場を牽引するAmazon Web Servicesがクラウドサービスにおける生成系AIサービスの一般提供を開始するなど、新たなイノベーションを創出しており、追従するMicrosoftやGoogleも生成系AIサービスの取り組みを強化させております。今後、各社が独自のクラウドサービスを拡充・強化することにより、ユーザーにおけるサービスの充実が促進され、パブリッククラウド市場は更なる拡大が見込まれます。

このような中、当社の事業においては、クラウドインフラを活用したシステム開発の需要が引き続き旺盛で、クラウドテクノロジーサービスが全体の売上高を牽引しました。自社サービスである360度評価特化型人事評価サービス「360(さんろくまる)」や学校向け連絡サービス「sigfy(シグフィー)」は、導入件数の拡大、大規模組織での導入進捗による平均単価の向上により、いずれも前年同期を大きく上回る売上高となりました。また、成長投資として取り組んでいる人員拡充は、概ね計画通り進捗しました。

これらの結果、当中間会計期間の経営成績として、売上高935,783千円(前年同期比7.6%増)、営業利益123,501千円(前年同期比8.2%増)、経常利益124,704千円(前年同期比9.4%増)、中間純利益82,662千円(前年同期比11.1%増)となりました。

なお、当社はDX事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間会計期間末における流動資産は1,274,090千円となり、前事業年度末に比べ56,671千円増加しました。これは主に、現金及び預金が57,852千円、仕掛品が22,121千円減少した一方で、売掛金が153,762千円増加したことによるものであります。

当中間会計期間末における固定資産は217,194千円となり、前事業年度末に比べ3,307千円減少しました。

(負債)

当中間会計期間末における流動負債は408,934千円となり、前事業年度末に比べ33,251千円減少しました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金金が19,998千円減少したことによるものであります。

当中間会計期間末における固定負債は28,747千円となり、前事業年度末に比べ104千円増加しました。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産は1,053,603千円となり、前事業年度末に比べ86,511千円増加しました。これは主に、利益剰余金が82,662千円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末から57,852千円減少し、718,509千円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況と、その主な要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により支出した資金は37,867千円(前年同期は10,729千円の支出)となりました。

これは主に、税引前中間純利益が124,704千円であった一方で、売上債権及び契約資産の増加額が139,164千円、法人税等の支払額が32,239千円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は3,835千円(前年同期は19,900千円の支出)となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出が3,835千円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は16,149千円(前年同期は12,379千円の支出)となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出が19,998千円であったことによるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の業績予想につきましては、2024年8月9日に公表の「2024年6月期決算短信」に記載のとおり、通期の予想に変更はありません。

なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当中間会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	776,362	718,509
売掛金	201,311	355,073
契約資産	101,060	86,463
仕掛品	99,407	77,285
その他	39,276	36,758
流動資産合計	1,217,418	1,274,090
固定資産		
有形固定資産	89,241	85,522
投資その他の資産	131,260	131,672
固定資産合計	220,502	217,194
資産合計	1,437,920	1,491,285

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当中間会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	93,225	81,440
1年内返済予定の長期借入金	43,349	23,351
未払法人税等	32,269	42,548
契約負債	108,800	105,275
受注損失引当金	-	1,635
その他	164,541	154,682
流動負債合計	442,185	408,934
固定負債		
資産除去債務	28,642	28,747
固定負債合計	28,642	28,747
負債合計	470,828	437,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	56,735	58,666
資本剰余金	417,535	419,466
利益剰余金	492,560	575,223
自己株式	△112	△112
株主資本合計	966,720	1,053,244
新株予約権	372	359
純資産合計	967,092	1,053,603
負債純資産合計	1,437,920	1,491,285

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	870,021	935,783
売上原価	535,047	561,926
売上総利益	334,973	373,857
販売費及び一般管理費	220,811	250,355
営業利益	114,162	123,501
営業外収益		
受取利息	0	21
為替差益	-	1,176
助成金収入	187	-
補助金収入	96	-
その他	30	144
営業外収益合計	314	1,343
営業外費用		
支払利息	184	88
株式交付費	113	-
為替差損	141	-
その他	15	52
営業外費用合計	454	140
経常利益	114,022	124,704
税引前中間純利益	114,022	124,704
法人税、住民税及び事業税	40,242	42,518
法人税等調整額	△648	△476
法人税等合計	39,594	42,041
中間純利益	74,428	82,662

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	114,022	124,704
減価償却費	4,622	8,381
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△48	-
受注損失引当金の増減額(△は減少)	-	1,635
受取利息及び受取配当金	△0	△21
助成金収入	△187	-
補助金収入	△96	-
支払利息	184	88
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△67,865	△139,164
棚卸資産の増減額(△は増加)	4,533	22,121
仕入債務の増減額(△は減少)	6,895	△11,785
契約負債の増減額(△は減少)	△9,105	△3,524
その他	△16,739	△7,997
小計	36,213	△5,562
利息及び配当金の受取額	0	21
助成金の受取額	187	-
補助金の受取額	96	-
利息の支払額	△150	△88
法人税等の支払額	△47,076	△32,239
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,729	△37,867
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,043	△3,835
敷金及び保証金の差入による支出	△9,779	-
その他	△1,078	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,900	△3,835
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△16,665	△19,998
ストックオプションの行使による収入	4,285	3,848
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,379	△16,149
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△43,009	△57,852
現金及び現金同等物の期首残高	847,949	776,362
現金及び現金同等物の中間期末残高	804,939	718,509

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。